平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社　　上場取引所　東
コード番号 9006　URL http://www.keikyu.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 原田 一之
問合せ先責任者　(役職名) 取締役経理部長　(氏名) 廣川 雄一郎　TEL 03-3280-9135

四半期報告書提出予定日　平成26年2月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	235,394	8.8	21,289	47.5	17,259	69.5	10,998	43.6
25年3月期第3四半期	216,406	0.9	14,435	8.4	10,181	15.6	7,660	181.8

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　12,170百万円　(45.9%)　25年3月期第3四半期　8,342百万円　(207.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	19.95	―
25年3月期第3四半期	13.90	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	988,729	204,586	20.6
25年3月期	994,374	195,767	19.6

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　204,143百万円　25年3月期　195,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
26年3月期	―	3.00	―		
26年3月期(予想)				3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	314,000	2.3	22,300	16.9	16,800	23.7	9,000	6.0	16.33

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	551,521,094 株	25年3月期	551,521,094 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	348,975 株	25年3月期	323,311 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	551,187,449 株	25年3月期3Q	551,274,512 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
４．補足情報 …… 11
【第３四半期連結損益計算書（前年同期比較）】 …… 11
【セグメント情報（前年同期比較）】 …… 12
【鉄道運輸成績】 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）のわが国経済は、経済対策、金融政策の効果などを背景に、企業収益や個人消費に改善の動きがみられるなど、景気は、回復基調で推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、重要な戦略拠点である品川、羽田空港等を中心に各事業を推進するとともに、経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努めました。また、ライフラインを担う企業集団として、引き続きすべての事業において安全の徹底を図り、安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、交通事業等が順調に推移したほか、流通事業等における連結子会社の決算期変更の影響も加わり、当第３四半期連結累計期間の営業収益は2,353億９千４百万円（前年同期比8.8％増）、営業利益は212億８千９百万円（前年同期比47.5％増）、経常利益は172億５千９百万円（前年同期比69.5％増）、四半期純利益は109億９千８百万円（前年同期比43.6％増）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、ダイヤ改正の効果のほか、航空旅客の増加などにより、羽田空港輸送等が増加しました。また、他社と共同で交通系ＩＣカードの全国相互利用サービスを活用したキャンペーンを実施したほか、海外の航空会社や地方自治体等と共同で国内外において旅客誘致を図るなど、当社線の利用促進に努め、輸送人員は前年同期比で1.7％増加しました。

さらに、引き続き安全対策を最重要課題とし、法面の防護工事、トンネルの補修工事、高架橋の耐震補強工事等を行ったほか、大師線で地下化工事を推進しました。このほか、京急蒲田駅付近の連続立体交差事業で、引き続き駅舎の改良工事等を進めました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス㈱は、羽田空港アクセス路線でダイヤの見直しを行ったほか、羽田空港～大船駅・鎌倉駅線の運行を開始しました。また、中距離路線で横浜駅（東口）～東京ディズニーリゾート線を増便するなど、輸送力の増強に努めました。さらに、京浜急行バス㈱および川崎鶴見臨港バス㈱は、横浜駅（ＹＣＡＴ）～東扇島線で路線を延長したほか、休日運行を開始するなど、利便性向上を図りました。

以上の結果、交通事業の営業収益は875億９千８百万円（前年同期比2.0％増）、営業利益は131億７千６百万円（前年同期比33.6％増）となりました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で、港町駅前において大規模分譲マンション「リヴァリエＡ棟・Ｂ棟」の販売を引き続き行ったほか、分譲マンション「オーベルグランディオ横浜鶴見 アリーナテラス」の販売を開始しました。さらに、当社および京急不動産㈱は、引き続き「京急ニュータウン金沢能見台」分譲地、「京急ニューシティ湘南佐島なぎさの丘」分譲地等の販売を行いました。このほか、京急不動産㈱は、分譲マンション「プライム新川崎」、「プライム横浜生麦」を完売したほか、「プライム雑色」を引き続き販売しました。

不動産賃貸業では、リニューアル工事が完了した品川駅前の京急第１ビル高層棟が満室稼働したほか、京急第10ビルをはじめとしたオフィスビルが順調に推移しました。また、京急開発㈱は、他社と共同で、羽田空港等に好アクセスという立地特性を活かし、大田区において「平和島物流センタ（仮

称）」の建設に着手しました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は205億１千４百万円（前年同期比20.2％増）、営業利益は23億６千４百万円（前年同期は営業損失６千７百万円）となりました。

なお、当社が参画している横須賀中央駅前の大滝町２丁目地区第一種市街地再開発事業において、２月に「ザ・タワー横須賀中央」のモデルルームを開設しました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック ＬＥ ＤＡＩＢＡは、アジアを中心とした訪日旅客の増加や近隣施設のイベントにあわせた宿泊プランの販売などにより、宿泊部門が好調に推移したほか、宴会部門では高層階宴会場のリニューアルを活かし、新規顧客の獲得に努めました。また、ビジネスホテル「京急ＥＸイン」は、旺盛なビジネス、レジャー需要を取り込み、品川駅前をはじめ各館が好調に稼働し、客室単価も上昇しました。さらに、当社は、羽田空港利用客等の需要に対応し、ビジネスホテル事業の拡大を図るため、東銀座駅近傍に土地を取得したほか、京急川崎駅では出店に向けた整備工事を進めました。

レジャー施設業では、京急開発㈱は、「ボートレース平和島」の外向発売所等が順調に推移したほか、「天然温泉 平和島」でスパエリアを拡張するなど、新規顧客の獲得に努めました。

以上の結果、レジャー・サービス事業の営業収益は315億５千８百万円（前年同期比3.6％増）、営業利益は33億６千６百万円（前年同期比33.9％増）となりました。

流通事業

百貨店業では、㈱京急百貨店は、紳士服売場で新規テナントを導入したほか、子ども服売場の大規模改装を行うなど、新規顧客の獲得に努め、好調に推移しました。

ストア業では、㈱京急ストアを存続会社としてユニオネックス㈱を合併し、一体運営による規模拡大と経営の効率化を図りました。また、㈱京急ストアは、「もとまちユニオン日吉店」を開業したほか、新業態の２店舗目となる「京急ストア グロッサリーマーケット みなとみらい店」を開業するなど、立地特性に応じた業態での出店を進め、経営基盤の強化を図りました。

㈱京急ショッピングセンターは、ウィング高輪 ＷＥＳＴで、大規模なテナントの入れ替えや施設の全面改修を行いました。

物品販売業では、㈱京急ステーションコマースは、セブンーイレブンへ転換した駅売店が好調に推移しました。

以上の結果、連結子会社の決算期変更の影響も加わり、流通事業の営業収益は948億３千２百万円（前年同期比16.0％増）、営業利益は15億９千７百万円（前年同期比122.5％増）となりました。

その他

京急建設㈱および京急電機㈱は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。また、京急サービス㈱は、地域のニーズに応じ、駅に近接した認可保育所「京急キッズランド」を新たに２か所開業しました。

しかしながら、京急建設㈱および京急電機㈱で前期に大型工事を竣工したことの反動などにより、その他の事業の営業収益は288億５百万円（前年同期比13.0％減）、営業利益は６億９千万円（前年同期比45.9％減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより、前連結会計年度末と比べ56億４千４百万円減少しました。

負債は、長期前受工事負担金の増加はありましたが、支払手形及び買掛金や有利子負債の減少などにより、前連結会計年度末と比べ144億６千３百万円減少しました。

また、純資産は、剰余金の配当による減少はありましたが、四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末と比べ88億１千８百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における連結業績は概ね想定の範囲内で推移していることから、平成26年３月期の業績見通しについては、平成25年11月６日に開示した内容を変更しておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第１四半期連結会計期間において、連結子会社の㈱京急ストアとユニオネックス㈱は、㈱京急ストアを存続会社として合併しております。

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,057	42,871
受取手形及び売掛金	13,103	12,786
商品及び製品	2,504	2,898
分譲土地建物	86,612	87,406
仕掛品	2,201	3,998
原材料及び貯蔵品	498	612
繰延税金資産	3,354	2,071
その他	7,766	10,193
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	165,068	162,813
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	305,846	303,794
機械装置及び運搬具（純額）	38,025	35,079
土地	158,012	158,090
建設仮勘定	235,991	238,072
その他（純額）	6,595	6,123
有形固定資産合計	744,472	741,160
無形固定資産		
のれん	3,664	3,486
その他	6,568	5,926
無形固定資産合計	10,232	9,413
投資その他の資産		
投資有価証券	42,603	46,244
長期貸付金	2,145	2,005
繰延税金資産	6,178	3,864
その他	23,824	23,366
貸倒引当金	△150	△139
投資その他の資産合計	74,600	75,342
固定資産合計	829,306	825,916
資産合計	994,374	988,729

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,406	22,032
短期借入金	146,876	138,885
コマーシャル・ペーパー	10,000	―
1年内償還予定の社債	309	20,065
未払法人税等	3,244	2,164
前受金	4,561	6,193
賞与引当金	1,286	1,066
役員賞与引当金	146	―
その他	25,819	27,825
流動負債合計	227,650	218,232
固定負債		
社債	110,085	120,019
長期借入金	251,724	231,114
繰延税金負債	786	855
退職給付引当金	7,509	8,037
役員退職慰労引当金	807	815
長期前受工事負担金	171,630	177,174
その他	28,413	27,894
固定負債合計	570,957	565,910
負債合計	798,607	784,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,157
利益剰余金	103,828	111,520
自己株式	△239	△262
株主資本合計	191,485	199,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,838	4,988
その他の包括利益累計額合計	3,838	4,988
少数株主持分	442	442
純資産合計	195,767	204,586
負債純資産合計	994,374	988,729

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
営業収益	216,406	235,394
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	176,755	186,692
販売費及び一般管理費	25,215	27,412
営業費合計	201,970	214,105
営業利益	14,435	21,289
営業外収益		
受取利息	67	70
受取配当金	342	412
持分法による投資利益	505	751
その他	1,001	902
営業外収益合計	1,915	2,136
営業外費用		
支払利息	5,533	5,313
その他	636	853
営業外費用合計	6,169	6,167
経常利益	10,181	17,259
特別利益		
受取保険金	－	678
工事負担金等受入額	50	123
固定資産売却益	4,895	－
特別利益合計	4,945	801
特別損失		
固定資産圧縮損	50	123
減損損失	1,696	－
固定資産除却損	1,127	－
特別損失合計	2,873	123
税金等調整前四半期純利益	12,253	17,937
法人税、住民税及び事業税	3,312	3,866
法人税等調整額	1,253	3,050
法人税等合計	4,565	6,917
少数株主損益調整前四半期純利益	7,687	11,020
少数株主利益	27	21
四半期純利益	7,660	10,998

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	7,687	11,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	654	1,150
その他の包括利益合計	654	1,150
四半期包括利益	8,342	12,170
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,314	12,149
少数株主に係る四半期包括利益	27	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日 至平成24年12月31日）

１ 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	交通事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
営業収益								
外部顧客への営業収益	84,214	11,936	27,444	80,651	12,158	216,406	―	216,406
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,640	5,137	3,007	1,117	20,964	31,867	△31,867	―
計	85,855	17,073	30,452	81,769	33,123	248,274	△31,867	216,406
セグメント利益又は損失（△）	9,861	△67	2,514	717	1,275	14,300	134	14,435

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

２ セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３ セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「レジャー・サービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、1,696百万円であります。

当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日 至平成25年12月31日）

１ 報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	交通事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
営業収益								
外部顧客への営業収益	85,887	15,239	28,583	93,792	11,891	235,394	―	235,394
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,710	5,274	2,974	1,040	16,914	27,914	△27,914	―
計	87,598	20,514	31,558	94,832	28,805	263,309	△27,914	235,394
セグメント利益	13,176	2,364	3,366	1,597	690	21,195	94	21,289

（注）１ 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

２ セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

３ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２ 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった㈱京急エルベフーズ、㈱京急マリーンフーズ、決算日が１月31日であった㈱京急ストア、決算日が２月28日であった㈱京急百貨店、㈱京急ステーションコマース、㈱京急友の会については、同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っておりましたが、当該子会社が決算日を３月31日に変更したことに伴い、当第３四半期連結累計期間は、㈱京急エルベフーズ、㈱京急マリーンフーズは平成25年１月１日から平成25年12月31日までの12か月間、㈱京急ストアは平成25年２月１日から平成25年12月31日までの11か月間、㈱京急百貨店、㈱京急ステーションコマース、㈱京急友の会は平成25年３月１日から平成25年12月31日までの10か月間を連結しております。この結果、当社およびすべての連結子会社の決算日は、連結決算日と一致しております。

この変更により、当第３四半期連結累計期間の「流通事業」の営業収益が11,844百万円、セグメント利益が174百万円、「レジャー・サービス事業」の営業収益が156百万円、セグメント利益が３百万円それぞれ増加しております。

４．補足情報

【第３四半期連結損益計算書（前年同期比較）】

	前第３四半期 連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期 連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
Ⅰ 営業収益	216,406	235,394	18,988	8.8
Ⅱ 営業費	201,970	214,105	12,134	6.0
１．運輸業等営業費及び売上原価	176,755	186,692	9,937	5.6
２．販売費及び一般管理費	25,215	27,412	2,197	8.7
営業利益	14,435	21,289	6,854	47.5
Ⅲ 営業外収益	1,915	2,136	221	11.6
１．受取利息	67	70	3	5.1
２．受取配当金	342	412	70	20.7
３．持分法による投資利益	505	751	246	48.7
４．その他	1,001	902	△98	△9.9
Ⅳ 営業外費用	6,169	6,167	△2	△0.0
１．支払利息	5,533	5,313	△219	△4.0
２．その他	636	853	217	34.2
経常利益	10,181	17,259	7,077	69.5
Ⅴ 特別利益	4,945	801	△4,143	△83.8
１．受取保険金	－	678	678	－
２．工事負担金等受入額	50	123	73	145.5
３．固定資産売却益	4,895	－	△4,895	△100.0
Ⅵ 特別損失	2,873	123	△2,750	△95.7
１．固定資産圧縮損	50	123	73	145.5
２．減損損失	1,696	－	△1,696	△100.0
３．固定資産除却損	1,127	－	△1,127	△100.0
税金等調整前四半期純利益	12,253	17,937	5,683	46.4
法人税、住民税及び事業税	3,312	3,866	554	16.7
法人税等調整額	1,253	3,050	1,797	143.4
法人税等合計	4,565	6,917	2,351	51.5
少数株主損益調整前四半期純利益	7,687	11,020	3,332	43.3
少数株主利益	27	21	△6	△22.6
四半期純利益	7,660	10,998	3,338	43.6

【セグメント情報（前年同期比較）】

	前第３四半期 連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期 連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	85,855	87,598	1,742	2.0
営業利益	9,861	13,176	3,315	33.6
不動産事業				
営業収益	17,073	20,514	3,441	20.2
営業利益又は営業損失(△)	△67	2,364	2,432	―
レジャー・サービス事業				
営業収益	30,452	31,558	1,106	3.6
営業利益	2,514	3,366	852	33.9
流通事業				
営業収益	81,769	94,832	13,063	16.0
営業利益	717	1,597	879	122.5
その他				
営業収益	33,123	28,805	△4,317	△13.0
営業利益	1,275	690	△584	△45.9
合計				
営業収益	248,274	263,309	15,035	6.1
営業利益	14,300	21,195	6,894	48.2
調整額				
営業収益	△31,867	△27,914	3,953	―
営業利益	134	94	△40	△29.8
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	216,406	235,394	18,988	8.8
営業利益	14,435	21,289	6,854	47.5

【鉄道運輸成績】

科目	前第３四半期 連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期 連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	22,110	22,280	170	0.8
定期外	33,137	34,372	1,234	3.7
計	55,248	56,653	1,404	2.5
	千人	千人	千人	%
輸送人員				
定期	183,590	185,419	1,829	1.0
定期外	143,627	147,369	3,742	2.6
計	327,217	332,788	5,571	1.7